

可能性マップ

全てのドリルマップをもとに火砕流の到達する可能性のある範囲を作成し、そこから1kmの範囲を火砕サージが到達する範囲としています。



- 凡例
- 火砕流が到達する可能性のある範囲
 - 火砕サージが到達する可能性のある範囲
 - 山頂
 - 行政界

一度の噴火で、塗られた範囲の全てに必ずしも火砕流や火砕サージの危険が生じるものではありません。

富士山ハザードマップが改定されました!!

~ 富士山噴火を正しく知り、備えにつなげるために ~

報告書など 山梨県ホームページ
富士山ハザードマップ 山梨県ホームページ



第2回

問合せ ■ 富士山火山対策室 ☎内線251
監修 ■ 山梨県富士山科学研究所 主幹研究員
富士山火山防災研究センター 吉本 充宏 センター長

6月号の「基本編・溶岩流編」に続き、「火砕流・融雪型火山泥流ほか編」をお届けします。来月号では「総合対策編」を掲載しますので、ぜひご確認ください。

火砕流・融雪型火山泥流ほか編

火砕流・火砕サージ

火砕流は高温の火山灰や大小さまざまな岩石が周囲の空気を取り込みながら高速で駆け下る現象です。速度は時速百km以上になることもあり、温度は数百度に達することもあります。

火砕サージは火砕流の一種で、火山ガスや空気を主体とする砂嵐のような流れです。高速で流れ、尾根を乗り越えて流れることもあります。

どちらの現象も到達すると予想される範囲では生命に対する危険性が非常に高く、発生してからの避難は困難です。そのため、噴火が発生したら到達すると予想される範囲から速やかに避難することが重要です。



気象庁ホームページより

融雪型火山泥流

山腹に積もった雪が火砕流などの熱で溶けて、斜面の土石を取り込んで時速数十kmで流れ下る現象です。溶岩流と比べて流下速度が速く、場所によっては市街地にも短時間で到達します。積雪がない時期には発生しません。



ドリルマップ

火砕流によって発生した融雪水は谷に集まっていくと考えられ「火砕流の下流端付近の谷底」を計算開始点に設定しています。種類 ■ 最大流動深・到達時間・危険度区分の3種類があります。

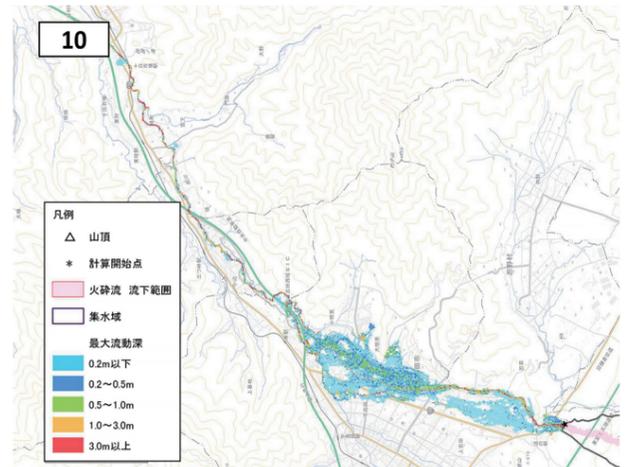
市に関するドリルマップ(シミュレーション結果)

番号 ■ 各種3 ~ 13

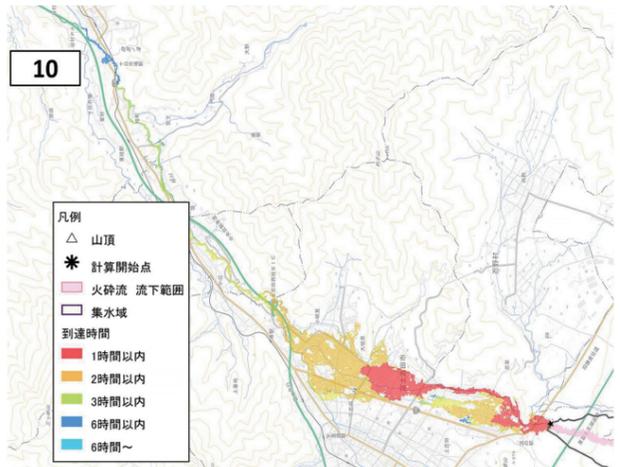
番号の一覧図はこちら
山梨県ホームページ(PDF)



最大流動深 土砂と水が一体となって流れるときの最大水深により区分した図です。



到達時間 到達する時間ごとに色分けした図です。



ドリルマップ

発生が想定される「勾配30°以上で連続的に続く斜面」の分布をもとに計算開始点を設定しています。

市に関するドリルマップ(シミュレーション結果)

番号 ■ 1 ~ 10, 35

番号の一覧図はこちら
山梨県ホームページ(PDF)



Memo

ドリルマップとは??…火山現象ごとに発生位置や規模などの条件を設定し、数値シミュレーションなどで到達範囲などを示した図です。現象が到達する可能性がある範囲などを把握するため、さまざまな条件を考慮し、複数の計算開始点を設定しています。これ以外の場所からは現象が発生しないことはありません。